

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域に出て行く機会が少なく、地域とのつながりが希薄になってきている。	地域との交流をとり、事業所として地域に貢献できるようにしていく。また、地域の人たちに認知症への理解を深めてもらうことにより、人的・物的な資源を最大限利用できるようにし、利用者の安全な生活につなげていく。	清掃活動や防災訓練などの自治会の活動に利用者と一緒に参加し、地域との信頼関係を築く。小中学校に出向き、子供たちとの交流を持ち、認知症への理解を深めてもらう。認知症養成サポーター講座を主催する。	12ヶ月
2	38	日々の生活において、職員が時間に迫られ、職員の都合を優先してしまっていることがある。	その人の、その人らしい自立した生活、生き生きとした生活を支援していく。利用者も職員も、できる事できない事がそれぞれあるが、皆で補いあって、温かいグループホームを目指す。	利用者主体であることを常に意識し、カンファレンスなどで意識の共有を図っていく。できることの役割を持ってもらうことはもちろん、たとえできなくても参加できる工夫をする。(ケアマネジメントとして取り組む)	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。